

日本体育科教育学会第31回大会 開催要項

(第二次案内)

- ◇主催 : 日本体育科教育学会
◇共催 : 安田女子大学
◇後援 : 広島県教育委員会、広島市教育委員会
◇開催日 : 令和8年7月4日(土)・5日(日)
◇会場 : 安田女子大学 〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6丁目13-1
アクセス <https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/access/>
アストラムライン「安東」駅から徒歩4分

◇スケジュール:

【第1日目(令和8年7月4日(土)12:00-17:40)】

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 理事会 | 11:00-12:00(1号館 1304 教室) |
| 受付開始 | 12:00- (1号館 1階アトリウム) |
| 開会行事 | 13:00-13:10(まほろば館ホール) |
| シンポジウム | 13:10-16:30(まほろば館ホール) |
| | 13:10-13:15 シンポジウムの趣旨説明 |
| | 13:15-13:35 演者①:佐藤貴弘先生(筑波大学) |
| | 13:35-13:55 演者②:中島寿宏先生(北海道教育大学札幌校) |
| | 13:55-14:15 演者③:村上祐介先生(順天堂大学) |
| | 14:15-14:30 休憩・移動 |
| | 14:30-15:30 分散会 |
| | 分散会会場1 (1号館 1302 教室) |
| | 分散会会場2 (1号館 1305 教室) |
| | 分散会会場3 (1号館 1306 教室) |
| | 15:30-15:40 休憩・移動 |
| | 15:40-16:20 討議内容の情報交換・質疑応答 |
| | 16:20-16:30 総括 |
| ポスター発表 | 16:40-17:40(1号館 3階テラス) |
| 情報交換会 | 18:00-19:30(まほろば館1階 まほろば食堂) |

【第2日目(令和8年7月5日(日)9:00-12:30)】

- 研究発表(口頭発表)
- | | |
|---------|---|
| 第1セッション | 9:00-10:00(1号館 1302・1305・1306 教室) |
| 第2セッション | 10:00-11:00(1号館 1302・1305・1306・1301 教室) |
- ラウンドテーブル
- | | |
|---------|---|
| 第3セッション | 11:15-12:30(1号館 1301・1302・1303・1305・1306・1308・1309・1310 教室) |
|---------|---|

◇課題研究シンポジウム

<テーマ>

改めて考える「体育における多様性の包摂」と今後の体育授業の在り方

<演者>

佐藤貴弘先生（筑波大学）：外国にルーツを持つ児童生徒の体育実践

中島寿宏先生（北海道教育大学札幌校）：へき地・小規模校での体育実践

村上祐介先生（順天堂大学）：通常学級での障がいのある児童生徒の体育実践

<司会>

荻原 朋子（順天堂大学）、山本 理人（北海道教育大学岩見沢校）、須甲理生（日本女子体育大学）

<テーマ設定の趣旨>

次期学習指導要領の改訂の作業が進む中、令和7年9月の中央教育審議会における教育課程企画特別部会（2025）においては、改訂論議を貫く3つの方向性として「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手を『みんな』で育むため、①『主体的・対話的で深い学び』の実装（Excellence）②多様性の包摂（Equity）③実現可能性の確保（Feasibility）の3つの方向性」が示された。また、これらの方向性に基づく改善は、教育課程内外のあらゆる方策を用いつつ、三位一体で具現化されるべきものとされている。

なかでも、②多様性の包摂については、多様な個性や特性、背景を有する子供が多くなっている実態に向き合うとともに、こうした多様性を個人及び社会の力に変える観点から、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育の実現を目指すものとされている。これらは、①「主体的・対話的で深い学び」の実装を目指す第一の方向性と両立させることが不可欠な第二の方向性であるともされている。このため、「調整授業時数制度」の創設、学年区分の取扱いの柔軟化、不登校児童生徒等への特別の教育課程編成を可能とする制度の創設等により、教育課程全体を包摂的な仕組みに改め、その具現化を図ることが目指されることが想定される（中央教育審議会、2025）。

これまで体育科・保健体育科（以下、「体育」）においては、共生社会の実現を目指して、男女共習による授業やアダプテッドの視点を取り入れた授業、運動が苦手な児童生徒への指導の改善等、様々な手立てを講じながら体育授業が取り組まれてきた。しかし、より一人一人の個性や特性、背景を踏まえた対応が可能な仕組みを体育授業で実現していくために、多様な個性や特性にどのように向き合い、公正性（equity）を拡大していくのかについて、本学会においての議論が必要であると考えた。

そこで、本シンポジウムでは、これまで本学会でも扱ってこなかった日本語を母国語としない児童生徒、へき地・小規模校の児童生徒、並びに通常学級に在籍する障がいのある（またはその可能性がある）児童生徒を対象とした体育の授業にはどのような障壁があるのか、加えて、そのような子どもたちに存在する運動・スポーツ格差等の多様性はどのように包摂されるのかといった視点から、改めて今後の体育授業の在り方を議論したい。そのため、「体育における多様性の包摂」をテーマとして取り上げ、シンポジウムを開催することとした。

（参考資料）中央教育審議会（2025）教育課程企画特別部会.論点整理（素案）.

https://www.mext.go.jp/content/20250904-mxt-kyoiku-000043994_03.pdf.

◇口頭発表プログラム 7月5日(日) 9:00~11:00 安田女子大学 1号館3階

7月5日(日)9:00~10:00

座長:佐藤 善人(相山女学園大学)

会場	発表時間	演題番号	演題	演者 (所属)
第1セッション 【第1会場】 1302 教室	9:00	O-1	体育授業における共同体感覚の醸成 :運動有能感が高い児童による他者貢献に着目して	梅澤秋久 (横浜国立大学)
	9:15	O-2	小学校体育科における学習者の主体的行為と資質・能力の関連 :スポーツ的社会化論における主体性理論枠組みに基づく分析	甲斐義一 (大分県教育委員会/ 立命館大学大学院)
	9:30	O-3	体育におけるルール学習の理論的再構成 ーゲームとしてのスポーツのルールを学ぶとはー	松本大輔 (中村学園大学)

7月5日(日)9:00~10:00

座長:中島 寿宏(北海道教育大学札幌校)

会場	発表時間	演題番号	演題	演者 (所属)
第1セッション 【第2会場】 1305 教室	9:00	O-4	よりよい学校体育の実現へ向けた教員研修モデルの開発	糸岡夕里 (愛媛大学)
	9:15	O-5	初任期保健体育教師の体育授業における学習観の形成・再構成 のプロセスおよび構造に関する探索的研究	大村悠真 (広島大学大学院)
	9:30	O-6	異分野クリティカルフレンドとの協働省察が授業者の授業観に与える影響	梶井大輔 (大谷大学)
	9:45	O-7	ゲーミフィケーションを活用した体育授業の環境作り :意欲の向上や課題意識の設定、競技を知ることに関心をあてて	齊藤雅記 (山口大学)

7月5日(日)9:00~10:00

座長:米村 耕平(香川大学)

会場	発表時間	演題番号	演題	演者 (所属)
第1セッション 【第3会場】 1306 教室	9:00	O-8	外国人生徒を含む体育の指導における中学校教員の経験 ーポジショニング理論を用いた分析ー	池下桃佳 (筑波大学)
	9:15	O-9	中学校武道領域の空手道授業における「約束組手」導入プログラムの検証	三村季里 (福山平成大学大学院)
	9:30	O-10	熟達雰囲気醸成を企図した体育授業が中学生の学習不安低減に与える影響:戦術学習を取り入れたバレーボール授業を事例として	川下将史 (広島大学大学院)
	9:45	O-11	中学校ネット型授業における他者評価活動が生徒の AAR サイクルに及ぼす影響	石塚諭 (宇都宮大学)

7月5日(日)10:00～11:00

座長:鈴木 聡(東京学芸大学)

会場	発表 時間	演題 番号	演題	演者 (所属)
第2セッション	【第1会場】 1302 教室	10:00 O-12	保健体育科教員養成における授業省察力の変容に関する研究 :模擬授業と動画分析を取り入れた「保健体育科教育法Ⅲ・Ⅳ」に おける学習過程に着目して	松永武人 (鹿屋体育大学)
		10:15 O-13	教育実習を経た学生による模擬授業の捉え直し ー保健体育科教員養成課程学生へのインタビューによる質的検 討ー	白川敦 (北翔大学/北海道 教育大学大学院)
		10:30 O-14	保健体育の教職課程において実践的指導力を養成するための 専門実技の内容構成:陸上競技を事例として	渡辺輝也 (愛知学院大学)
		10:45 O-15	校内における体育授業熟練者の教師教育者としての変容過程 :若手教師との授業改善の相互作用に着目して	梅村拓未 (北海道教育大学 博士後期課程)

7月5日(日)10:00～11:00

座長:鬼澤 陽子(群馬大学)

会場	発表 時間	演題 番号	演題	演者 (所属)
第2セッション	【第2会場】 1305 教室	10:00 O-16	小学校の学級担任による体育授業における授業設計の在り方に 関する検討:「スライド・セストボールのフィーチャー化」による授業 構想及び実践の報告を通して	竹内隆司 (東海学院大学)
		10:15 O-17	小学校体育授業における教師の発問の内容・パターンと授業評 価の関連ー小学校 3 年生のネット型ゲーム単元を対象とした分 析ー	吉岡正憲 (国士館大学大学院)
		10:30 O-18	体育授業におけるゴール型球技のボールを持たない時の動きに 関する研究動向:「体育科教育」掲載論文を対象としたスコーピン グレビュー	北澤陽奈子 (日本体育大学)
		10:45 O-19	小学校体育授業における女子児童に対する効果的な指導方法 の特徴:海外研究を対象としたスコーピングレビュー	高橋野人 (立命館大学スポー ツ健康科学研究科)

7月5日(日)10:00～11:00

座長:深見 英一郎(早稲田大学)

会場	発表 時間	演題 番号	演題	演者 (所属)
第2セッション	【第3会場】 1306 教室	10:00 O-20	小学校5年生を対象としたクリケット型教材の遠投距離向上に対 する効果検証	薄井好人 (埼玉学園大学)
		10:15 O-21	高等学校におけるベースボール型の戦術の理解度の定着に関 する検討:高校1年生次と2年生次の理解度テストの得点に着目 して	中垣貴裕 (愛知学院大学)
		10:30 O-22	体育授業におけるベースボール5の教材化が高校生に及ぼす影 響に関する調査研究:運動有能感および診断的・総括的授業評 価を視座として	福田健太郎 (広島大学附属福 山中・高等学校)

7月5日(日)10:00～11:00

座長: 四方田 健二(名古屋学院大学)

会場	発表 時間	演題 番号	演題	演者 (所属)
第2セッション 【第4会場】 1301 教室	10:00	O-23	表現系ダンスの即興表現における学習指導に関する実践的研究 ー熟練指導者による題材『2人の戦い』の実践から指導の一般化への手がかりを探るー	安江美保 (ノートルダム清心女子大学)
	10:15	O-24	多様な質感の動きを引き出す即興表現の授業 :教材「新聞紙を使った表現」における指導言語に着目して	山崎朱音 (横浜国立大学)
	10:30	O-25	創作ダンスにおける身体の表現力の構成要素に関する質的研究 :指導者への半構造化インタビューの SCAT 分析を手がかりに	椿ちか子 (鹿屋体育大学)

◇口頭発表をされる方へのお願い

口頭発表をされる方は、以下のご準備をお願いいたします。

- ・ 発表時間は10分、質疑応答は4分です。残り2分でベル1回、発表終了時間にベル2回、討議終了時間にベル3回でお知らせします。
- ・ 会場となる1302、1305、1306、1301教室備え付けのPCのデスクトップにPowerPointのファイルを発表開始前までに移してください(各会場に実行委員スタッフがおりますので、お尋ねください)。ご自身のPCを接続し、発表を行っていただいても構いません。プロジェクターとはHDMIでの接続になります。
- ・ iPadなどタブレット端末による発表はできません。
- ・ スクリーンセーバーやウイルスチェックならびにその他の通知などは、予め解除しておいてください。
- ・ 持ち込みPCのフリーズなどには大会本部は一切の責任を持ちません。また、それによる発表時間の延長も認められませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 発表資料を配布される場合は、ご自身で必要部数を印刷し、教室前の机に配置してください。

◇ポスター発表プログラム 7月4日(土) 16:40～17:40 安田女子大学 1号館3階テラス

演題 番号	演題	演者 (所属)
P-1	跳び箱運動におけるICT機器の活用が運動知識の向上に及ぼす影響	針谷美智子 (新潟医療福祉大学)
P-2	小学校体育における目標志向性タイプと基本的心理欲求・社会情動的スキルとの関連	野田侑司 (中村学園大学／九州大学)
P-3	教員養成課程におけるベースボール型授業のゲーム展開方式に応じた段階的指導法に関する検討	梶田和宏 (京都先端科学大学)
P-4	体育教師の異動で起こる授業実施上の困難	五十嵐史音 (北海道教育大学)
P-5	地域における創作表現の発表の在り方と継続上の課題	新山順子 (岡山県立大学)

P-6	離島の学校体育に関するシステマティック・マッピングレビュー	柴山慧 (福山平成大学)
P-7	長距離走に対する生徒の意識の変容に関する事例研究:小規模中学校の授業実践に着目して	岡崎祐介 (至誠館大学/広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期)
P-8	中学保健体育科教員の職務上の困り感:インタビュー調査を通して	山岸未悠 (広島大学大学院人間社会科学研究科)
P-9	多様な動きをつくる運動遊びにおける新体操の手具操作を導入した授業づくりの可能性ー小学校2年生を対象としたボールを使った運動の実践を通してー	渡邊柚珠 (国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科)
P-10	小学校教員免許取得を目指す大学生の体育授業の指導に対する不安	中野楓斗 (北海道教育大学札幌校)
P-11	学校体育における投動作の知識の習得に関する基礎的研究:大学生における投能力の実態に着目して	滝沢洋平 (大阪成蹊大学)
P-12	教師の学習観の相違が児童の技能習得に及ぼす影響:小学4年生の跳び箱運動を対象として	永末大輔 (東京学芸大学大学院連合学校教育研究科)
P-13	児童の困り感をめぐる教師の関与の過程~6年生跳び箱運動における省察を通して~	小口佑介 (上尾市立上平小学校)
P-14	体育専科教員の価値観と困りの構造	佐藤洸輔 (札幌市立菊水小学校/北海道教育大学教職大学院)
P-15	体育学習観と授業中の身体活動量・コミュニケーション量との関連について:中学校初期段階の生徒に着目して	重本喜一 (北海道教育大学)
P-16	ボール運動・球技における技能評価の再構築ー正統的周辺参加論(LPP)に基づく「役割」への着目ー	土田了輔 (上越教育大学)
P-17	小学校体育における指導困難度の検討:資質・能力の三つの柱に着目して	藤浪大輔 (大阪体育大学大学院)
P-18	中学校保健体育科教諭による体育授業時の発達支持的生徒指導の検討	高山智史 (長野大学)
P-19	持久走中の運動負荷を観察者がどの程度正確に推定できるか	高橋啓悟 (徳島大学)
P-20	カンボジア王国における男性体育教員を対象とした男女共習に関する認識の事例研究:前期・後期中等教育における体育モデル校を対象に	山崎鉄平 (大阪成蹊大学)
P-21	「探究的な体育授業」はなぜ実践化しにくいのか:授業観と授業実践の非対称性から考える	小池大輔 (新潟医療福祉大学)
P-22	外国人児童生徒等の心理的・社会的安全性をいかに保証するか?:初回体育授業における教師向けチェックリストの提案	戸村貴史 (筑波大学)

P-23	アダプテーション・ゲームの影響-小学校での一事例から-	村瀬浩二 (和歌山大学)
P-24	中学生の体育授業における有能感の経年変化:生徒の語りに着目して	佐藤光 (北海道教育大学教職大学院)
P-25	投能力向上を目的としたエクササイズが中学1年生のハンドボール投げの記録に与える影響: 6ヶ月間の実践報告	安田良子 (武庫川女子大学)

◇ポスター発表をされる方へのお願い

ポスター発表をされる方は、以下のご準備をお願いいたします。

- ・ 発表者ご自身でポスター原稿を印刷の上、会場までご持参ください。
- ・ ポスターパネルのサイズは 120 cm(横)× 165 cm(縦)です。左上角には大会事務局が用意する演題番号を貼付します。ポスターの最上部には、演題名、発表者氏名、共同研究者、所属を各自記載してください。
- ・ 演題番号と押しピンは、大会事務局が用意いたします。
- ・ 演題1つに対して1枚のポスターパネルが用意されておりますので、指定されたパネルに掲示して下さい。
- ・ ポスターパネルは、受付開始時刻より1号館3階テラスに設置しておりますので、事前の掲示をお願いいたします。
- ・ 発表時間終了後、掲示されたポスターは速やかに各自で撤去してください。

◇ラウンドテーブルプログラム 7月5日(日) 11:15~12:30 安田女子大学 1号館3階

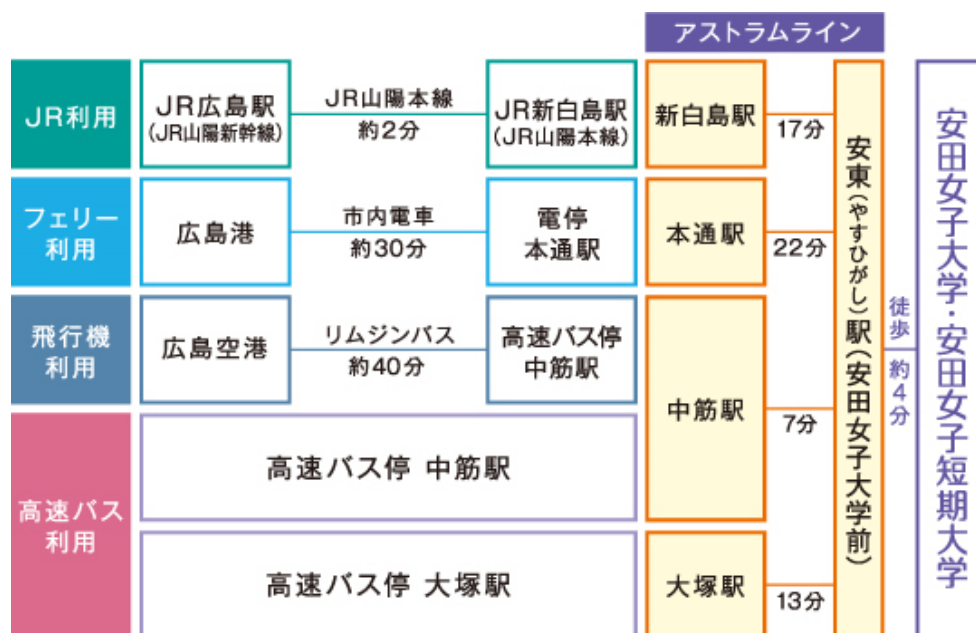
会場	演題番号	演題	演者(所属)
1301	R-1	＜学会企画プロジェクト＞学術誌掲載論文にみる体育科教育学の研究成果の整理 : 体づくり運動系、器械運動系、陸上運動系、表現運動・ダンス系を対象として	須甲理生 (日本女子体育大学)
1302	R-2	＜学会企画プロジェクト＞学術誌掲載論文にみる体育科教育学の研究成果の整理 : 水泳運動系、ゲーム・ボール運動・球技系、武道系を対象として	吉永武史 (早稲田大学)
1305	R-3	体育科授業研究会で発揮される教師エージェンシーとは何か : 主体的に学び続ける教師の姿を手がかりに	鈴木聡 (東京学芸大学)
1306	R-4	何のために教科として体育を学ぶのか : 子どもが自分なりの納得解を構築していく様相と、伴走者としての教師の見取り	野津一浩 (静岡大学)
1309	R-5	体育教師による、体育教師のための体育授業研究は可能か(「科学」なのか)? : 現場の内在的視点からの記述・解釈における evidence の在処を探る	鈴木理 (日本大学)
1310	R-6	拡張的学習理論による体育授業のイノベーション	石田智巳 (立命館大学)
1303	R-7	学校体育におけるランニング実践を問い直す : 対話を通して見えてきたこと	齋藤祐一 (鳴門教育大学)
1308	R-8	動きと音の関係性を探究するリズムダンス授業の提案 : ボディパーカッションを導入教材にした実技研修会を事例に	大西祐司 (びわこ成蹊スポーツ大学)

◇ラウンドテーブルをされる方へのお願い

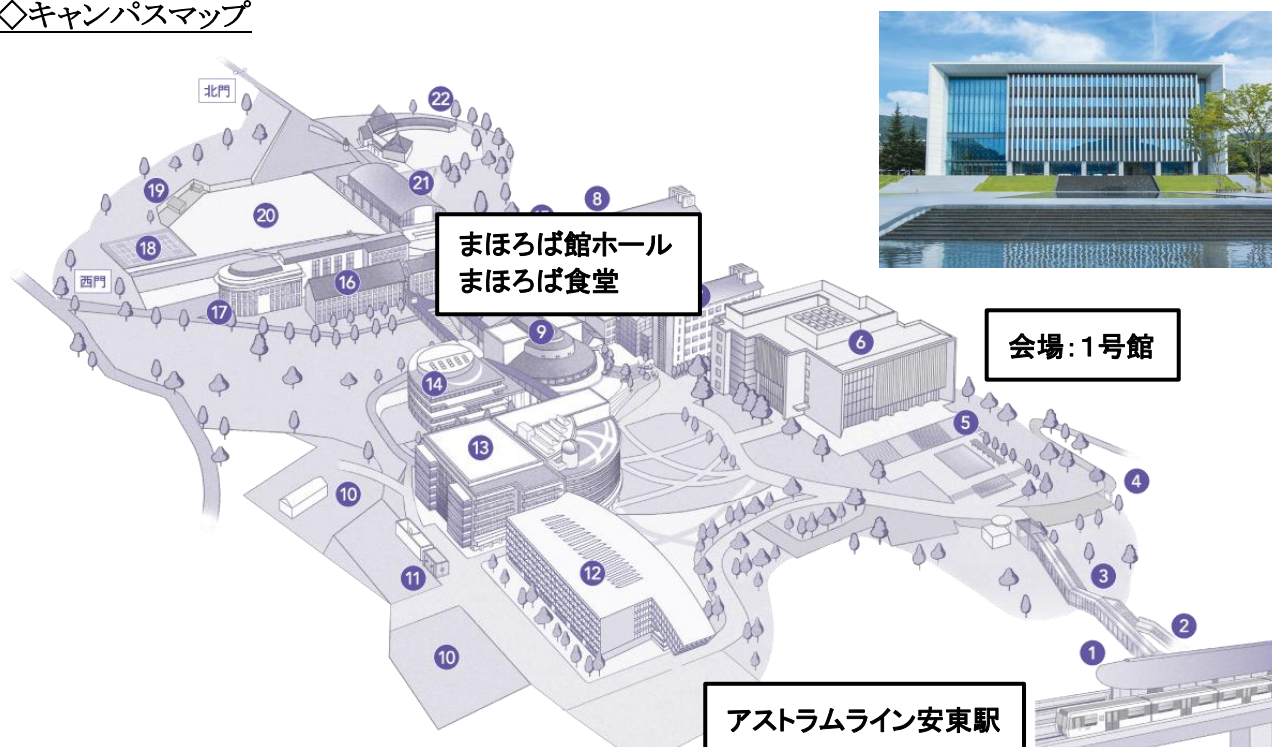
ラウンドテーブルをされる方は以下の点にご留意ください。

- ・ プロジェクターで発表資料等を投影される場合は、各会場備え付けの PC もしくは発表者ご自身のノートパソコン等をご使用ください。
- ・ 各会場の機器等の管理を担当する実行委員スタッフがおりますので、ご不明な点がございましたら、お尋ねください。
- ・ 発表資料を配布される場合は、ご自身で必要部数を印刷し、各会場にて適宜配布してください。

◇会場までのアクセス

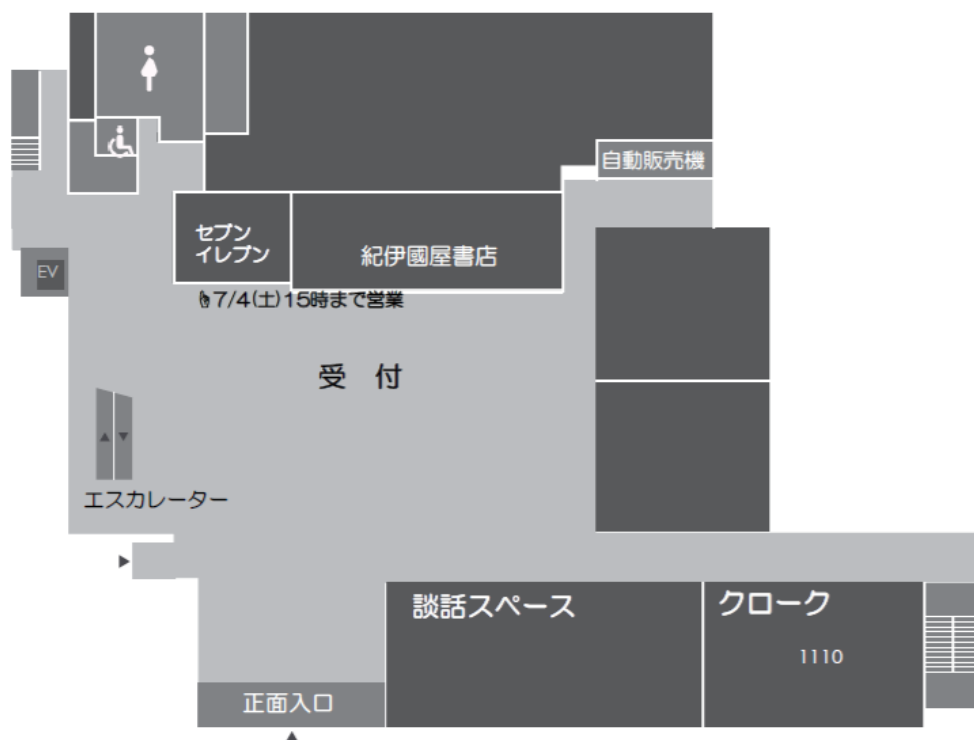


◇キャンパスマップ



◇会場案内図

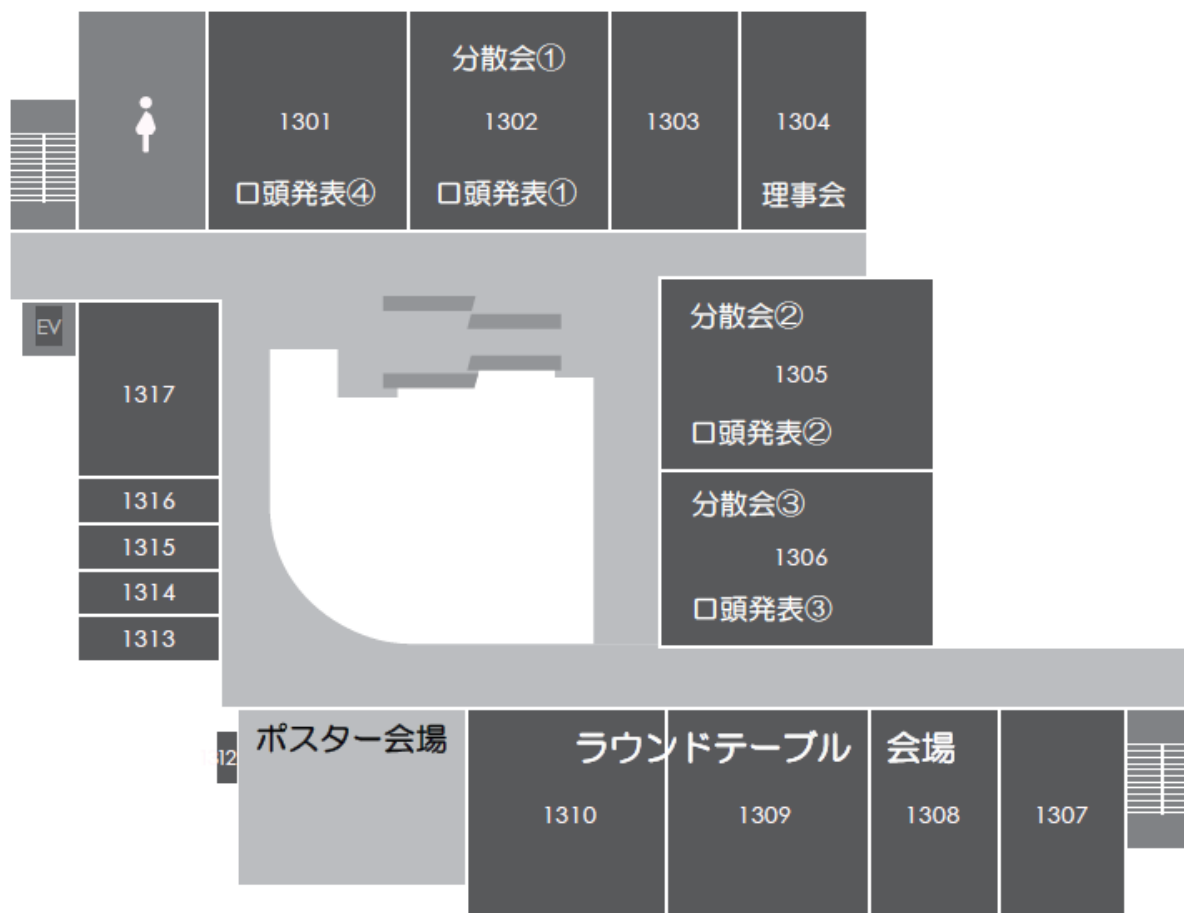
・1号館1階



・1号館2階



・1号館3階



※1号館1階のセブンイレブンが7/4(土)15時まで営業しておりますので、ご利用ください。

※クロークは、1号館1階正面入口の右手側に設置いたします。1日目は、11時～18時まで、2日目は、8時～13時まで開設しておりますので、ご利用ください。

※1号館の男性トイレは2階にございます。女性トイレは各階にございます。

※キャンパス内は全面禁煙となります。

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。自動車・自転車・バイクでの来校はご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。

※上記の開催方法の変更が生じた場合は、随時ホームページを更新しますので、ご確認の程よろしくお願いいたします。

＜日本体育科教育学会第31回実行委員会＞

大会実行委員長:加登本 仁(安田女子大学)

事務局長:松本 佑介(広島大学)

実行委員:久保 研二(広島大学)、中西 紘士(広島修道大学)、生関 文翔(安田女子大学)

高田 康史(広島文化学園大学)、湯浅 理枝(倉敷市立短期大学)

＜大会に関するお問い合わせ＞

日本体育科教育学会第31回大会実行委員会メールアドレス：31yasuda@jsppe.jp